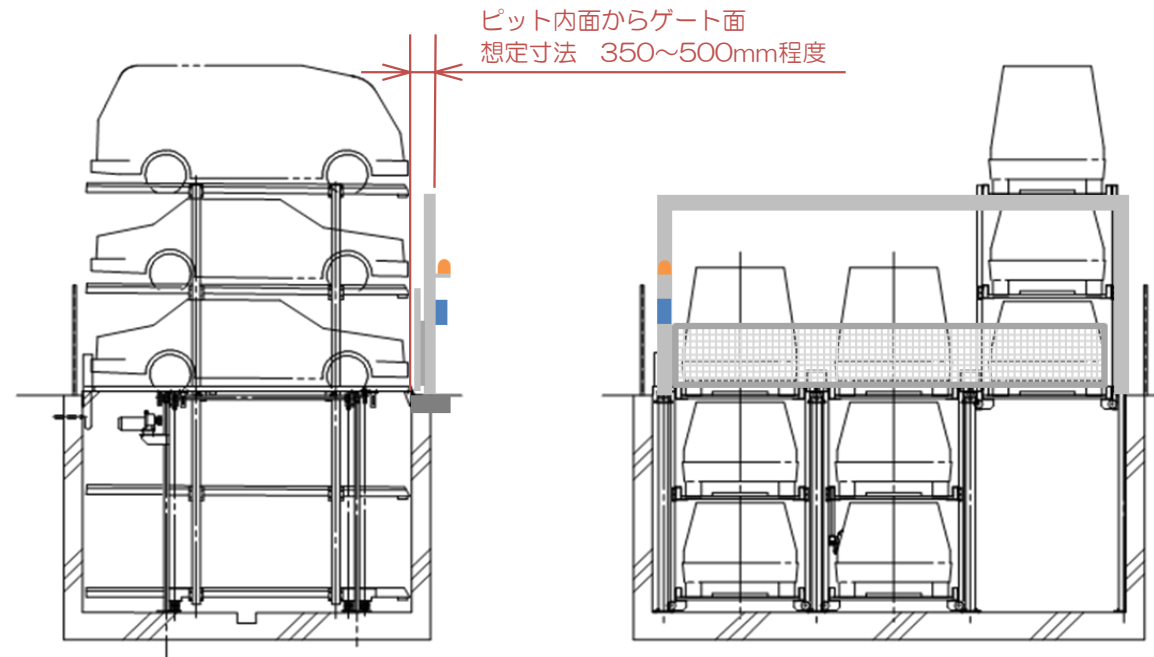


<ゲートの種類と想定寸法>

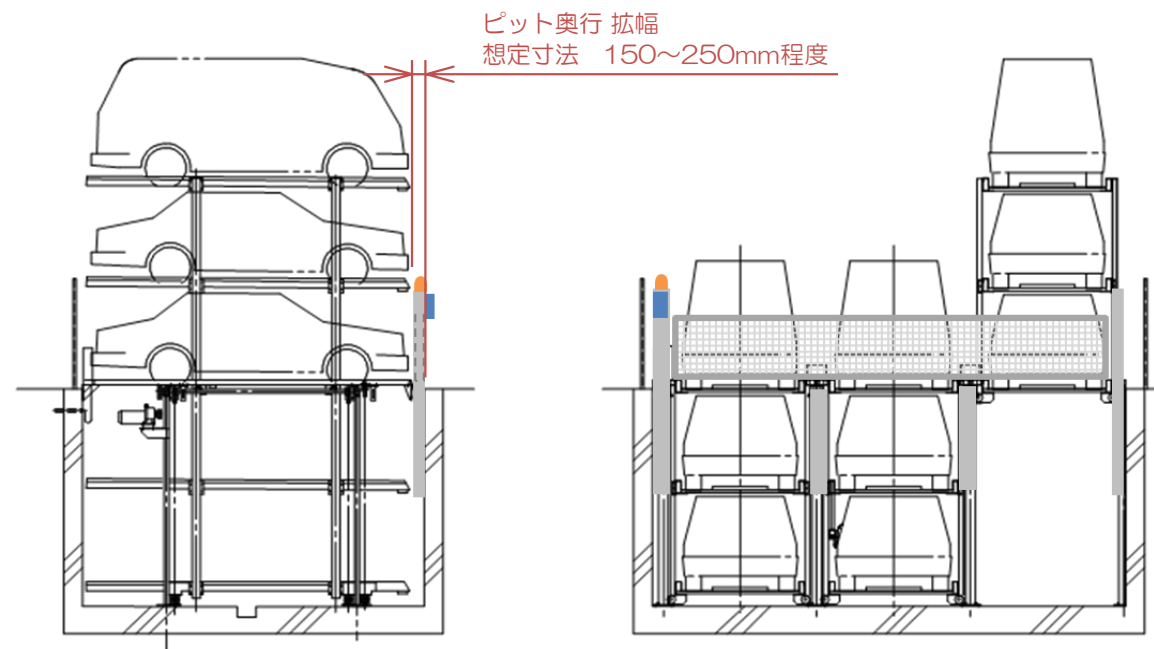
門型ゲート

躯体上に門型の骨材を設置します。ピット寸法を変えずに設置できますが、圧迫感のある景観となり、出寸法が広く前面車路が狭くなります。また地上に設置することから、高さも確保する必要があります。後付に最適です。

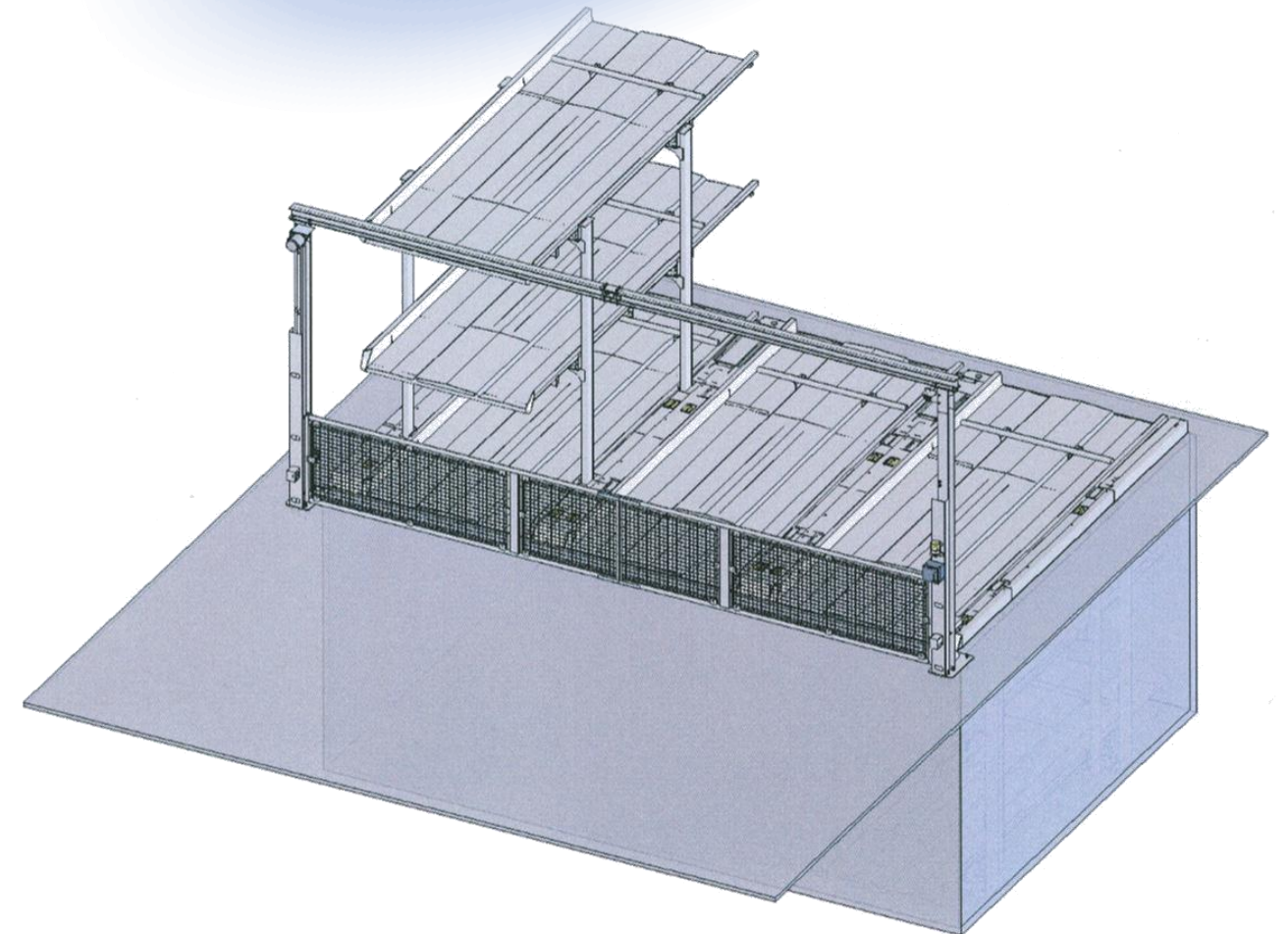


せり上がりゲート

ピット奥行を広げて、ピット内にゲート構造を設置します。景観に圧迫感がなく、出寸法も門型より狭くなるため、前面車路が狭い場合に有効です。後付は困難です。

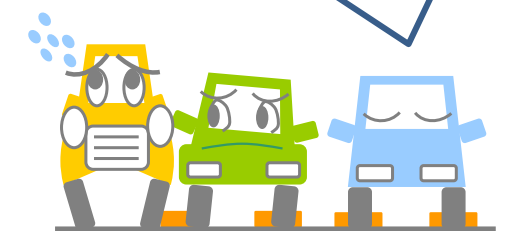


立体駐車場の安全基準が変わりました — ピット昇降式 編 —



より安全・安心にご利用いただくために、安全強化対策を積極的に取り組みご提案させていただきます。

平成24年9月18日より
安全基準が変わりました



日栄インテック株式会社

パーキング事業部

〒110-0016 東京都台東区台東3-42-5

日栄インテック御徒町第1ビル 9階

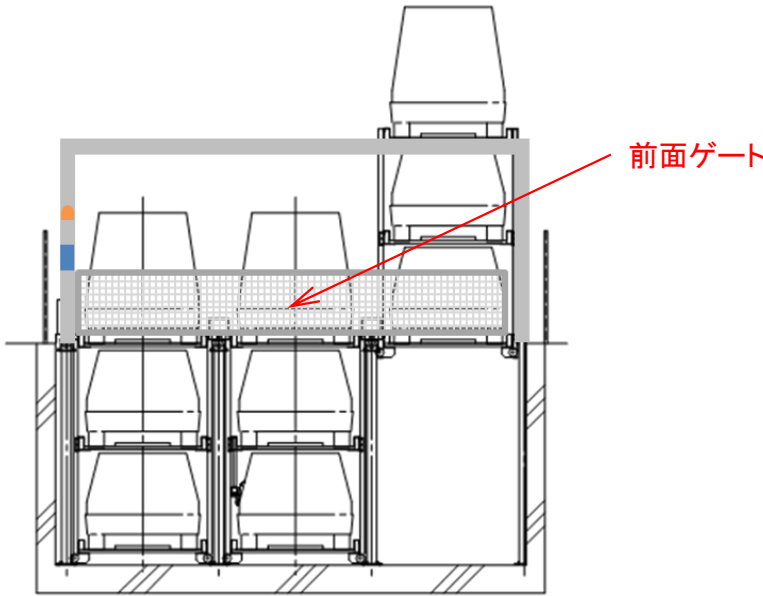
TEL 03-5816-7181 FAX 03-5816-7130

www.nichieiintec.jp/

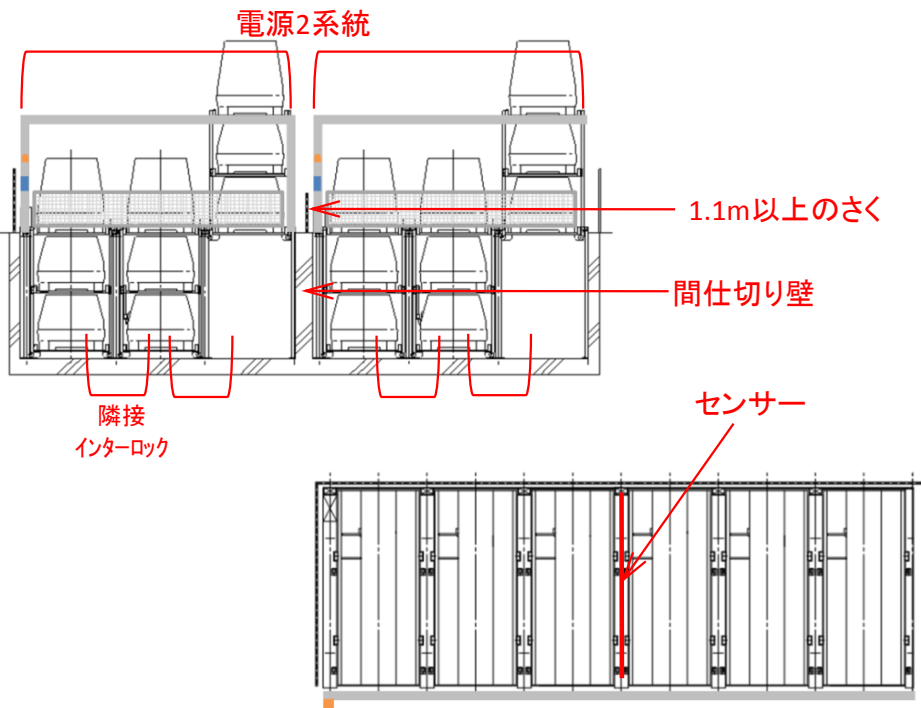
<機械式駐車場技術基準（変更部抜粋） 新旧対比表>

新（新規）

- ① 出入口の構造
出入口には出入口扉（前面ゲート）を設置

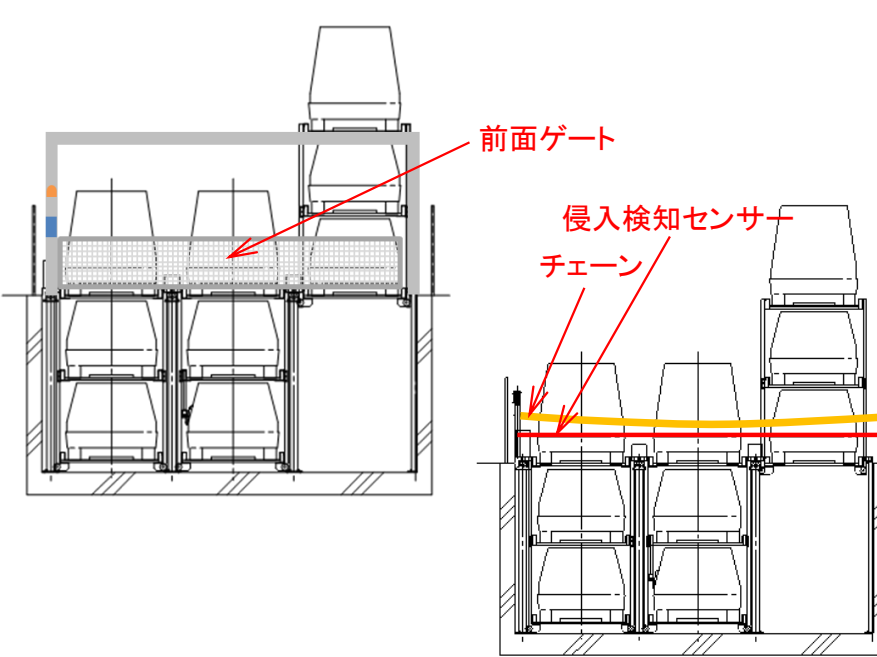


- ② 複数の駐車装置を連設する場合は、必要に応じて駐車装置間を区画するための1.1m以上のさくを設けることとする。さくの設置が困難な場合はセンサーを設け、操作対象区画内への侵入防止を図ること。



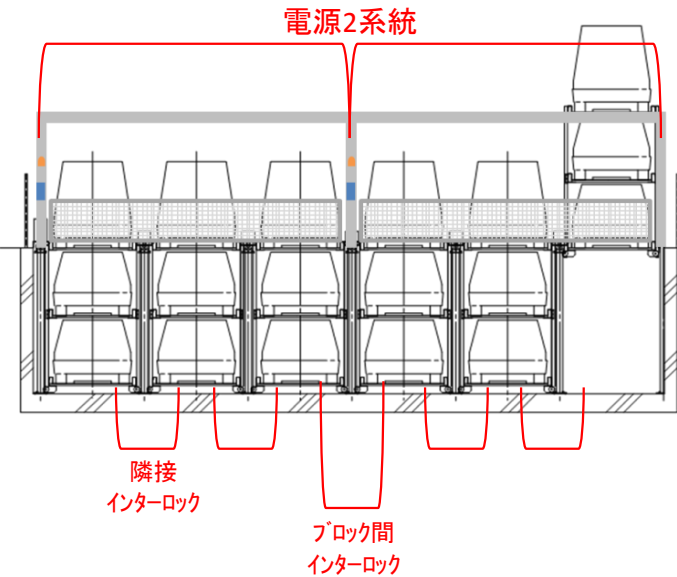
新（既設 安全強化要請）

- ① 出入口の構造
出入口には出入口扉（前面ゲート）を設置
前面ゲートの設置が困難な場合は既設のチェーンに加え
「※侵入検知センサー」の設置



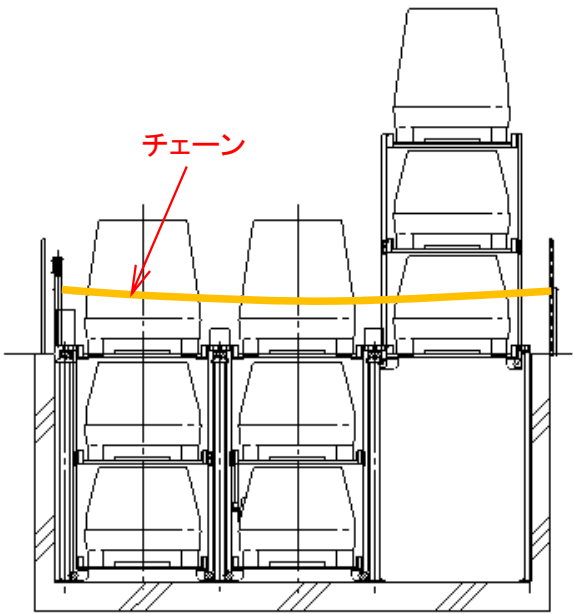
※ 駐車装置動作中にセンサーが感知したら駐車装置の動作を停止させ、リセット（解除）するまでは駐車装置が再起動しない構造。リセットは取扱者が安全を確認し、リセットすることで再度操作が可能となる。

- ② 隣接する装置の動作が同時にできないようにインターロックを設けること。



旧

- ① 出入口の構造
出入口にチェーンの設置（操作はノンホールド）



- ② 隣接する装置の動作が同時にできないようにインターロックを設けること。

